

製品取扱説明書



この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しくお使いください。
製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上
のご注意」と「取扱上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守
りください。取扱説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように
大切に保管してください。

オプション引出の取付け後は、ワゴンB（固定タイプワゴン）はデスク
下へ収納できなくなります。あらかじめご了承ください。

ご使用上の注意



注意

誤った取扱いをした時に、障害または家屋・家財の障害に結びつくもの。

スライドトレイ枠をデスクへ着脱する際は、必ず大人2人で作業をおこなってください。

作業中に誤って落下するとケガをしたり、床や製品に傷をつけたり破損をする事がございます。

スライドトレイ枠をデスクへ着脱する際は、必ず床の上に毛布などの敷物を敷いた上で作業を行ってください。

作業中に誤って取り外したボルトや引出しが落下するとケガをしたり、床や製品に傷をつけたり破損をする事がございます。

スライドトレイ枠をデスクへ着脱する際、スライドトレイ枠からスライドトレイを取り外さずに行ってください。スライドレールが特殊な為、破損の原因になります。

スライドトレイ枠へのトレイ収納時に誤って落下するとケガをしたり、床や製品に傷をつけたり破損をする事がございます。

レールの構造上レールが飛び出したままになります。レールに接触してケガをしたり、破損したりする事がございます。また、スライドトレイ収納時にレールを破損する恐れがあります。

スライドトレイ枠のデスクから取り外しを行う際は、スライドトレイに収納されている物は全て取り除いてから作業を行ってください。

作業中に誤って引出しが落下するとケガをしたり、床や製品に傷をつけたり破損をする事がございます。

スライドトレイを使用にならない場合は、必ずスライドトレイを収納してください。

接触した場合思わぬケガをしたり、転倒をさせてケガをしたり、床、壁等や製品に傷を付けたり、破損したりする事がございます。

スライドトレイの開閉には十分に注意してください。

手をはさんで思わぬケガをする事がございます。

スライドトレイ枠を取り付ける際、ネジはしっかりと締め固定してください。又、日頃時々点検をしてボルト等が緩みはじめたら、しっかりと締め直してください。

落下するとケガをしたり、床や製品に傷をつけたりする事がございます。

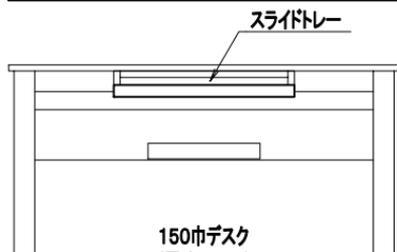
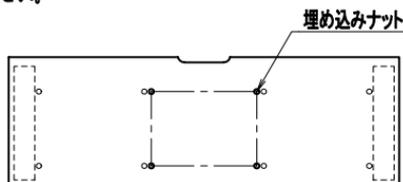
本製品は全てのサイズのデスク中央に1台のみ取り付けが可能です。

スライドトレイの取り付けを行うと、ワゴンB(固定タイプワゴン)の収納はできません。また、オプション引出との併用はできません。あらかじめご了承ください。

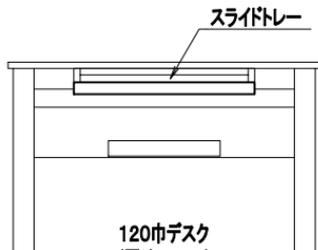
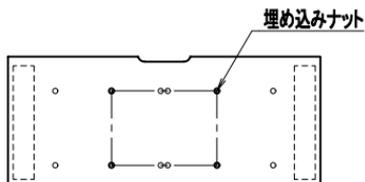
各種デスクには天板の裏側に取付用の埋め込みナットが引出し3箇所分、埋め込まれています。

(図参照)

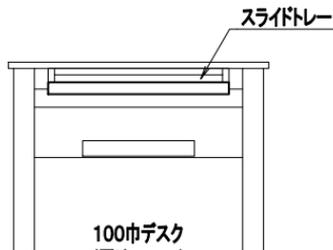
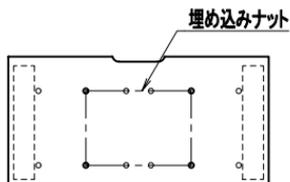
全てのサイズ中央にのみ取り付け可能です。



150巾デスク
(図は150x50)



120巾デスク
(図は120x50)



100巾デスク
(図は100x50)

スライドトレイの取り付け方法

取り付け・取り外し作業を行う際は、必ず大人2人以上で慎重に行ってください。

作業を行う際は、必ず床の上に毛布などの厚手の敷物を敷いた上で作業を行ってください。

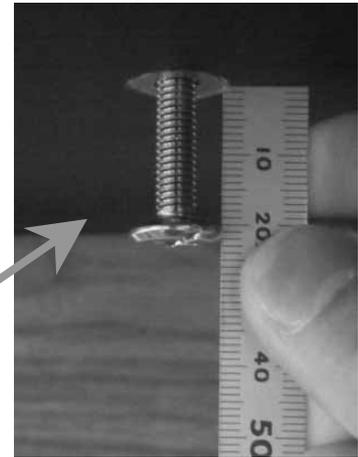
取り外し作業を行う際には、トレイに載せている物は全て取り除いてから作業を行ってください。

デスク天板裏側のオプション引出取付用埋め込みナットの中央取付位置を利用して取り付けを行います。



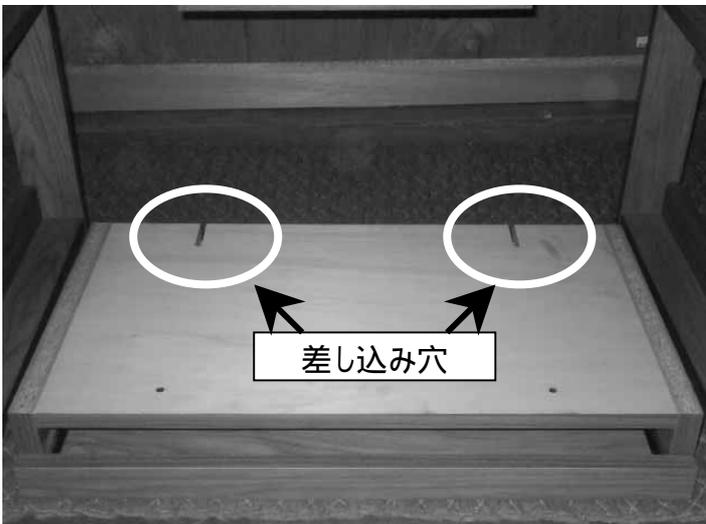
左画像の奥2箇所付属の取付ボルトを天板とネジの頭の間が21 mm程度になるくらいまで取付ボルトを締めこんで、仮止めしてください。

ボルトを仮止めた状態



ボルト部拡大

スライドトレイ枠の天板と背板にボルト横から差し込む為の加工がされています。



スライドトレイ枠の天板溝に合わせて、仮止めたボルトが溝の奥まで来るようにスライドトレイを差し込んでください。



(手前から奥にトレイ枠を差し込んでください。)

本画像は見やすいようにスライドトレイを引き出しています。

スライドトレイを引き出し、スライドトレイ枠を持ち上げた状態(天板に押しつけた状態)で天板に開いている取り付け穴をデスク天板裏の埋め込みナットに合わせ、付属の取付ボルトをプラス(+)ドライバーで締め付けてください。スライドトレイは静か引き出して慎重に行ってください。勢いよく飛び出す恐れがあります。引き出した状態のスライドトレイには手を掛けたり、持ち上げたりしないでください。破損の恐れがあります。



取り付け部拡大



締め付けが終わりましたら、スライドトレイ枠を で仮止めしたボルトをしっかりと締めて、スライドトレイ枠をしっかりと固定してください。

固定し終わりましたら、スライドトレイを収納して完了です。



スライドトレイ 収納の方法

スライドトレイは、完全に引出した状態で保持される構造になっております。

スライドトレイを収納する際には、少し強めにスライド天板を押し込む事により、収納が可能です。

スライドトレイ ストッパー解除の方法

ご使用中、スライドトレイの出し入れが重いと感じられる様な事がありましたら、下記の要領にてストッパー機能を解除する事により解消する事ができます。

(ストッパー機能の解除につきましては、片側のみでも有効です。)

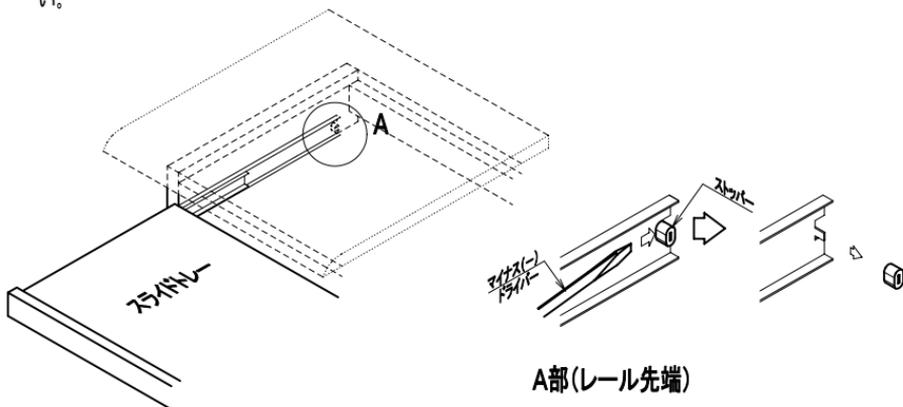
～安全上のご注意～

作業を行う際はスライドトレイの上のものは、全て取り除いてください。

スライドトレイを引出した状態のまま、手を掛けたり、上に乗ったり、手をついたりしないでください。本体を転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたり、スライドトレイやレールを破損すると危険ですので十分注意をして行ってください。

スライドトレイを全開にして本体内側左右に付いているスライドレールの後部(奥)にある「ストッパー(ゴム)」の根元に図の様にマイナス(-)ドライバー等を差し込んで外してください。この時、ケガをしたり製品にキズをつけたりしない様、慎重に行ってください。

片側のみでの取外しでも解消できない場合は、両側のストッパーを同じ要領にて取外してください。



安全上のご注意(必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

背板の付け替え及びコードだまりの付け替え、オプション引出の取り付けを行う際には、必ず大人2人以上で行って下さい。

背板の付け替え及びコードだまりの付け替え、オプション引出の取り付け、取り外しの際は、落下させて床をキズつけないように必ず毛布などの敷物をして床材の保護をするようにしてください。

説明書に従いボルトの締め付けはしっかり行ってください。ボルトの締め付けがゆるみ転倒、落下をするとケガをしたり、床や壁、製品をキズつける原因になり大変危険です。

天板や背板、コードだまり、オプション引出を固定しているボルトがゆるんで落下すると、ケガをしたり床をキズつける原因になり大変危険です。しっかり固定してください。

日頃時々点検してデスクがぐらついたり、ボルト等がゆるみはじめたらしっかり締めなおしてください。

オプション引出の取り付けを行う際には、必ず引出枠から引出しを取り外してから行ってください。

オプション引出の取り外しを行う際には、必ず引出しに収納されているものは全て取り除き、引出をセットしたまま作業を行ってください。(無理に引き抜くと破損する事があります。)

ワゴン各種、サイドデスクの引出を引き出したまま、引出に手をかけないでください。転倒する恐れがあります。

取扱い上のご注意

警告 火災などによる人身事故にご注意ください。

暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。

お客様自身で修理・改造はしないでください。

机やワゴン、サイドデスクの上に乗らないでください。(転倒してケガの原因)

ワゴン、サイドデスクの引出を最後まで引き出したまま、引出に手をかけないでください。

(転倒してケガの原因)

注意 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。

使用中にボルトにゆるみが生じた場合、早めにドライバー等でしっかり締めなおしてください。

(デスクのぐらつき、天板・背板・コードだまりの落下の原因)

デスクの据え付け及び移動をするときは、床を引きずらないで必ずお二人で持ち上げて行ってください。

(床をキズつける原因)

ワゴンの前輪キャスターにはストッパー機能がついています。

ワゴンの移動をやめたいときはストッパーボタンを下げてください。

お願い 製品を末永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。

机の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)

直射日光のあたるところ、温度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。

(反り・割れ・変色・カビの原因)

製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けしないでください。(表面材がはがれる原因)

シンナー・ベンジン等を吹き付けしないでください。

お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤をうすめた液か石けん水に布を浸し、よく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。